

前回の分科会における主なご意見

項目	主なご意見(概要)
共助体制 (安全対策)	<ul style="list-style-type: none"> ○除雪作業中の心肺停止など、新たな特徴の事故防止策として、除雪作業に慣れていない地域での対応策も検討すべき。 ○命綱の普及等の施策は命に関わる問題なので、施策として行政が取り組む以上、力を入れて取り組んで欲しい。 ○命綱については、アンカー設置に対する補助が進めばさらに普及するのではないか。また技術的な改善の研究も進めてほしい。
空き家対策	<ul style="list-style-type: none"> ○雪国の高齢者は、医療機関のある中心部のマンションに移り住むことにより、空き家増加の要因となる背景もあるため、都市政策上、データの把握が必要と思われる。
雪冷熱 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ○豪雪地帯であることを活かすという点で、雪冷熱エネルギーの活用は非常に重要で可能性があるため、民間業者等に広めてほしい。
道路交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○道路関連データとITと組み合わせることで、現在の自動運転化のトレンドに除排雪を組み込むことも可能性があるので前向きに進めてほしい。 ○トラック業界はかなりの情報を持っているので、もう少しトラック協会と連携して、確かな情報を得ることは効果があるのではないか。 ○雪国のどこに行っても人が安全に歩ける環境づくりが重要であり、小さな市町村でも歩道除雪がしっかりできるような支援をしてほしい。 ○除雪車が寄せた雪を住民がスノーダンプで流雪溝に入れて処理するなど、共助除雪を支えるインフラとなっている流雪溝の整備を支援してほしい。
(建設業)	<ul style="list-style-type: none"> ○雪の降り方に左右されない地域維持型契約の導入を促進してほしい。 ○同じ道路なのに管理者が違うことによって除雪の状況に差が生じている実情を踏まえ、管理者の違いを乗り越えて、統一既した出勤条件、費用負担にした方が良いのでは。
(観光)	<ul style="list-style-type: none"> ○今後、北京での冬季オリンピック等、アジアでも雪を楽しむ方が増えるので、豪雪地帯における雪を使った魅力発信を考えてほしい。 ○外国人観光客向けに、日本の雪の特徴や豪雪地帯に関する情報を紹介する啓発的なパンフレット等の作成により、身の安全を図るための注意喚起が必要となっている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○豪雪地帯の高校や大学(土木・建築)などにおいて、雪に起因する生活上の問題や技術的な対策を教育できる機会があるとよい。 ○近年はゲリラ豪雪といった事象が生じており、雪の観測技術の向上が重要となる。 ○高齢者が雪と向き合わなくても済むような暮らし方を議論していくことも必要。 ○将来の人口動態等も含めた地域の状況を踏まえ、施策を議論していくことが必要。 ○新潟県では逃げ遅れによる冬期の火災死亡事故が多くなっており、積雪時でも避難経路を2か所以上確保するといった指導も広めていくことが必要。 ○除雪車の残していく雪の固まりの処理方法について何か工夫ができないか。